

溝のロキリスト教会 ウィンディ・ニュース

第461号 (2026年3月1日発行)

Windy News 3月号

標語：主の強い愛の流れに飛び込み、主の祝福に満ち溢れた人となろう。
聖句「あなたたちの神、主が年の初めから年の終わりに至るまで、絶えず
目を注いでおられる。」
(申命記 11章 12節)



2026 年が明けましたと思いきや、教会会議と
そのあとにつづく各部会をすでに終えて、
新しい年度がいよいよスタートします！

2026年1月11日 壮年部+有志新年会 @ 焼肉屋さん



壮年部と有志は、年始に食事会を持ちました。幹事の
水田兄が選んでくださったのは溝の口の焼肉屋さん。
ここは無煙焼肉のお店。モクモクと煙は立ちませんが、
黙々と食べる私たち。無口になるほど美味しいのと、
美味しく焼くのについ夢中に。「焼肉あるある」に嵌
ってしまいました。

「世界の平和とシャローム」

仁井田義政 牧師

二十一世紀に入って早くも二十七年を迎えている。二十世紀に入る時、二十世紀は戦争の世紀だったため、今世紀こそ平和になるように、世界の誰もが願ったはずである。しかし現実には、その願いは遠く、まさに戦争の世紀となりかかっている。四年前にはロシアによるウクライナ侵略によって、ウクライナはもとより、西側諸国にとっても、ロシアによる自国の侵略を守るために、ウクライナを盾に、武器の供与が続いている。またアメリカは、トランプ政権のベネズエラ攻撃とグリーンランド購入提案などという他国の主権を無視した愚行が続いている。それだけではない。現在はアメリカが中東での軍事圧力をかけるために、ア

ブラハム・リンカーンと、ジェラルド・R・フォードの空母二隻を派遣し、多数の戦闘機を中東周辺に配置し続けている。

今日にも、イランとアメリカが戦争に突入しても不思議ではない状態である。さらには、パキスタンとアフガニスタンのタリバンが、戦争状態に入ってしまった。既にその軍事衝突で、百八十人以上の戦死者を出してしまっている。「平和」という人類共通の希望が踏みじられ続けているのが、人間の歴史なのである。人間とはなんと悲しい存在なのだろう。元に戻るが、ロシアとウクライナの戦争は、数日前に四年を迎えた。その戦死者数は、ロシアが約二十七万五千人、三十二万五千人である。ウクライナの戦死者は、十万人、十四万人である。なお戦争は続いており、停戦終戦も程遠いというのが事実であろう。ロシアの戦死者数は、戦争に送り出される年齢の十八歳、五十歳の男性人口（約三千万人）で計算

すると、戦死者のみで約一％超に達することになる。負傷して戦線にも仕事にも復帰できない人（重傷者）を含めると、この世代の男性の三、四％が失われた計算になる。しかも今年二〇二六年に入っ

ては、月間の死傷者が三万人を超えて増加し続けているのである。しかも平和の兆しが全く見えないのである。私達日本は、戦後八十年間戦争のない「平和の国日本」と思われてきた。そのひとつは、憲法第九条の「三つの柱」があったからである。「三つの柱」とは

(1)戦争の放棄（第1.項） 国家の権利としての戦争や、武力による威嚇・行使を永久に放棄する。

(2)戦力の不保持（第2.項前段） 陸海空軍、その他の戦力を持たない。

(3)交戦権の否認（第2.項後段） 国家として戦争を遂行する権利（交戦権）を認めない。である。

しかし現在はこの平和憲法が揺らぎ始め

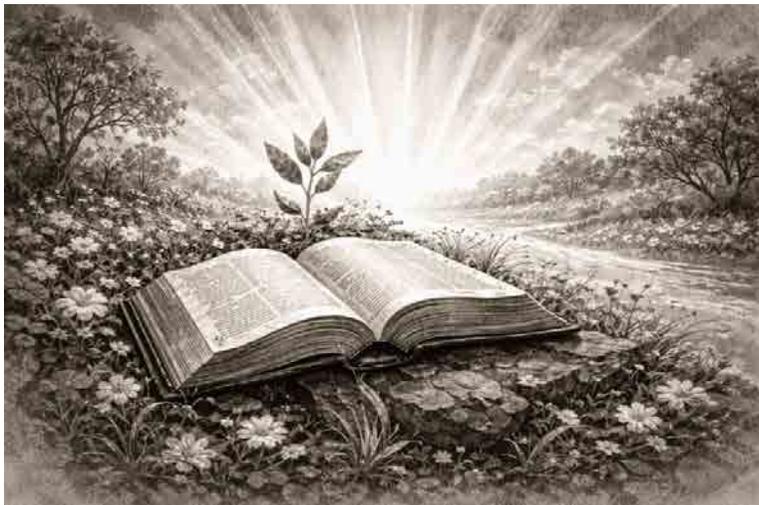
ている。改憲論が広がり続けているからである。

イエス様は

「もしこの日に、おまえも平和（平安）をもたらす道を知っていたなら……。しかし今、それはおまえの目から隠されている。」（ルカ十九章 四十二節）

と言われた。その「平和」はヘブル語の「シャローム」であり、神との平和を表わす言葉である。

人間が「シャローム」を得ない限り、平和は来ないのである。



■ 2026年度 教会会議（報告）
2月1日（日）、今年度の教会会議が無事行われました。

* 議題

1. 2025年度 活動報告
2. 2025年度 決算報告
3. 2026年度 役員・部長選出
4. 2026年度 活動計画
5. 2026年度 予算計画
6. その他

右記の議題について、会議の中で確認し、昨年度の主の守りや祝福に改めて感謝すると共に、新年度の活動がさらに素晴らしいものになるよう祈りました。

また、各部より部会報告をいただいておりますのでこちらに掲載いたします。
※今号に掲載していない部については次号に掲載予定です。

■壮年部

- 1 第一、第二礼拝の 10 分前に祈禱室にて祈る。
- 2 毎月末の周辺清掃、終了後、祈禱室にて祈る。
- 3 牧師先生の外でのご奉仕に同行する。

(イベント案)

- 4 11月15日 バーベキュー大会へ壮年部も参画する。

(案)焼き鳥、タコ焼き、サンマ焼きなど

- 5 従来の『寄席を観る会』は変更。教会へ福音落語家(ゴスペル亭バウロ?)を招く方向で、牧師先生にご調整いただく。(費用の捻出に関して、検討が必要。)

- 6 スポーツ的なイベント

(一)壮年部独自による取り組み

(案)ボーリング、多摩川河川敷にてパークボール、サッカー観戦など

(二)デイキャンプに参画し、何かスポーツ的なイベントを計画する

- 7 1月11日 食事会↓新年会の実施場所を検討、津田山駅近く『ながぐつ』など

(記：桜井兄)

■婦人部

2月8日(日) 出席 13名

☆2025年度の活動報告と会計報告は、部会のレジメでご確認下さい。

☆今年度の婦人部役員

部長：中川姉 副部長：中谷姉

会計：水田姉

☆今年度の活動予定

・2/8 婦人部会

・4/5 イースター礼拝、祝会準備

・5/23 (土) 幸子先生お誕生会

・6/9 南地区女性大会

・11/15 バーベキュー大会参加 婦

人部では豚汁を

・12/5 (土) 牧師先生お誕生会

・12/20 クリスマスハンドベル

コンサート後の軽食準備

*婦人部特伝の日時は別途決定。

①イースター祝会準備

これまで、長きにわたって岩崎姉が、準備の中心になってご奉仕下さいましたが、ご負担が大きく、これまでのようにご無理をお願いすることが難しくなりましたので、今年からは、婦人部の皆様、お一人お一人に一層のご協力を頂き、頑張って準備したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3月に入りましたら、皆様に、お手伝いのアンケートを取りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。またこんなメニューはどう?という提案もぜひお願いいたします。

これまでのように、全て手作りというのはだんだん難しくなってきましたので、少しずつ購入することも考えていきたいと思います。

ただ、こうした準備の時間も婦人部の皆さんとの大事な交わりの場であり、楽しい時間になっていますので、それも大

切にしつつ、負担を軽減しながら、皆さんで楽しんで準備していきたいと思います。

② 婦人部特伝

このところ毎年、火曜聖研の日に仁井田先生にお願いして特伝を開催し、昨年はたくさんの方々が導かれましたが、今年も、子育てやお仕事で火曜日出席できない方がたも参加できるように、土曜日に開催してはどうか、という提案がありました。しかし一方でお子さんやご主人がお休みの土曜はかえって出にくいのでは？という声もあり、一度皆さんの希望、提案を伺ってみることにしました。皆がこの日！と、まとまることもなかなか難しいとは思いますが、普段出席しにくい方々が、できるだけたくさん参加できそうな時に開催出来たら、と願っています。皆様の希望、また提案をメールにてお返事下さいますよう、よろしくお願いたします。

③ バースデーカード

今年も澤ともえ姉、西山美子姉がご奉仕して下さいます。また7名の方のお誕生日に婦人部一斉メールを流しますの
で、各自その方のためにお祈りお願いいたします。

④ 支援のプレゼント

石川、輪島地方の復興は今でも進んでいませんので、応援の気持ちを込めて、今年もお送りしたいと思います。クラフトテープのコースターとエコたわしを恵美子姉がすでにたくさん作って下さっていますので、時期を見てお送りします。

⑤ 教会の掃除について

これまでご奉仕下さっている方たちに加えて、新たにご奉仕して下さいる方をお待ちしています。

定期的でなくてもできる時に加わってくださるのも大歓迎です。

⑥ 牧師先生、幸子先生のお誕生会

これまで火曜聖研の日にお誕生日をお祝いでいたしましたが、お仕事のある方も参加できるように、土曜日に開催してほしい、との提案がありましたので、今年も土曜日に予定しました。
たくさんの皆様と先生方のお誕生日をお祝いできることを願っています。



☆溝の口教会の婦人部は、7名の方がいらっしゃいますが、子育てやお仕事に忙しく、火曜聖研等平日の活動に参加できない方たちが4割位いらっしゃいます。
今年も、そうした方たちもともにできる活動を考えていきたいと思えます。
ぜひ、若い皆さまからの、こんなことはどう？こんなことをやりたい！という積極的なご提案をお待ちしています。
中川までお寄せください。

(記：中川姉)

■青年部

先日の青年部会で決まったことを、こちらで報告いたします。

① 進学・進級パーティー

・3月8日(日)

・ピザハットテイクアウト予定

・第二礼拝終了後(12:00～) 2階

② 青年部主催賛美集会

・9月6日(日) 会堂

・練習: 7/26, 8/2, 9, 16, 23, 30 第二礼拝後

・青年部の奏楽奉仕者の増加をテーマに経験者から教わる機会を設けて、賛美集会で1曲以上を、奏楽奉仕未経験者を含めたメンバーで行うことを目標とする。

③ ランチ会

4/12(日), 5/10(日), 6/14(日), 7/12(日),

8/2(日), 9/13(日), 10/11(日), 11/1(日),

1/10(日) 2階

・第二礼拝終了後(12:00～任意解散)

・9～11月はハンドベルがあるため、13時までとする。

・第二礼拝終了後に2階で、一緒に昼食

をとりながらお話ししたりゲームをしたりといったプチ交わりの時間にする。

(青年部の活動に普段来られない人も、

お昼と一緒に食べるだけなので気軽に参加出来る機会としたい。)

④ 日帰り・休日イベント

・4/29(水)、11/3(火)

ランチ会で具体的な内容を決める予定

★ユースキャンプ(3/25-27)

相模原藤野芸術の家

補助が出るため、学生を中心にみんなで参加できるように声掛け。

★青年部掃除メンバー

現行から変更なし。

★部費

昨年度の余りがあるため、今年度の徴収はなし

(記:海兄)

■広報伝道部

2月8日に行われた広報伝道部会の報告をいたします。

まず、昨年度の活動として、隔月での

ウィンディニュースの発行について確認いたしました。数年前までは、毎月発行していた教会新聞ですが、新型コロナウイルス

流行で教会イベントの減少があり発行が

難しくなったこともあって数年前から隔月の発行になっている状況です。

各種イベントのリアルタイムでの報告

ができなくなってしまう面もありますが、編集作業の分担や負担を考慮して今後もこのペースで発行をしていくことになりました。

新聞の内容としては現在と同様に牧師

先生のコラムや、教会のイベント報告、お

証などになります。それ以外にも教会のみなさんに知ってほしい情報を発信していけたらということをお話しました。

また、昨年は、時期を逃して依頼ができ

ず、残念ながら記事にできなかったイベントもありましたので、今年は事前に教会のみなさんにもお願いをしておくなど、依頼方法を変えてみようと考えております。たくさんのみなさんにご協力いただきながら、ウインディチャペルらしい楽しい教会新聞を作っていけたらと思っています。部員は随時募集していますので、文章を書くのが好きな人、写真やイラストを扱うのが得意な人、パソコンでの作業に興味がある人、どなたでも大歓迎です。お待ちしております♪(記：小俣姉)



■ゴスペル部

2026年度のゴスペル部の活動を報告します。

今年もイースターや信徒訓練会、クリスマスキャロル、そしてクリスマス礼拝において賛美を捧げていく予定です。

すでにイースター礼拝での賛美曲は個人練習が始まっています。

今年もメンバー募集中です。年間通してではなく、行事ごとの単発参加もできますので、興味のある方はぜひお声かけください。共にイエス様を見上げて賛美していきましょう。(記：神田姉)

■ハンドベル部

ハンドベル部会報告は以下の通りです。

部員：健一兄・勇人兄・直斗兄・悠人兄・

野代姉・あゆみ姉・舞生姉・美祈姉

中谷姉・楼蘭姉・恵美子姉・中川姉

計 12名

今年の活動

① イースター礼拝での演奏 2曲

② クリスマスキャロル

溝の口駅デッキにて

③ クリスマスハンドベルコンサート

練習

・日曜日13:00～

・イースター… 3月22日、29日

・クリスマスに向けて…9月20日、

10月から毎週日曜日予定

(記：中川姉)

『調和を求めて…王のまなざし』

今回ご紹介するのは現在アマゾンプライムで配信中のドキュメンタリー映画『調和を求めて…王のまなざし』です。本作では現在のイギリス国王チャールズ三世が長年にわたって続けてきた、人間と自然界の調和を取り戻すための活動が紹介されています。私は昨年十二月から今年の年明けにかけてこのドキュメンタリーを字幕翻訳したのですが、その間に礼拝で仁井田牧師のメッセージを聞きながら、この作品のシーンが頭に浮かぶことが何度もありました。あらゆる視聴者に向けて制作された作品なので特に宗教を前面に出してはいません。でも、チャールズ国王の理念や活動には聖書の内容とリンクする部分がいくつもあり、国王が聖書に記されている神様の意図に従って長年活動してきたことが伝わってきます。

【あらすじ】

現在七十七歳のチャールズ国王は、幼い頃から自然に親しんで育ちました。自然界の生命の多様な営みを観察する中で、宇宙のすべては神様によって完璧に調和するよう造られているということを理解したので。しかし青年時代を迎える頃、人間が産業や経済を優先させたことにより自然界のバランスが崩れ、神様が造った調和が急激に失われてゆくのを目の当たりにします。

当時は科学を用いた大規模な農業が一般化し、食料が大量生産できるようになったおかげで世界から飢餓が減り、産業化がもてはやされました。その結果として土地や水が汚染されても、自然環境を守ろうなどという考えはまだ存在すらしていませんでした。

そんな時代に、いち早く警鐘を鳴らし

たのが若きチャールズ皇太子でした。しかし公場で自然保護を訴え、公邸の片隅に作った畑で絶滅寸前の希少な品種を守り育て、化学肥料や農薬を使わない有機農法で土地を再生しようとする皇太子を、世間は変わり者扱いして批判します。世間の理解を得られずマスコミに揶揄されても信念を貫く皇太子の姿に胸を打たれます。

有機農法が徐々に成果を上げ、ようやく世間の見る目も変わってきた頃、皇太子はより大きな活動に着手します。近代化に取り残され荒廃が進む炭鉱の町をまごころと、豊かな自然の中で人々が生き生きと暮らせる調和した町へと再生しようと試みるのです。私財を投じてでも費用がまかなえないため多額のローンを抱えてのスタートです。失敗は許されません。果たしてうまくいくのか…。

日本でチャールズ国王といえば、故ダイアナ妃の夫としてのチャールズ皇太子というかつてのイメージが強く、その人柄についてはあまり知られていません。

この作品を見ると、国王が庶民とはかけ離れた環境に育ったにもかかわらず、地に足の着いた生活をする思いやりに満ちた人物だということがよく分かります。自身の高い地位を使ってあらゆる国や民族に働きかけ、神様が造った世界の調和を取り戻すために奔走し、どれほど批判されようとも信念に従って粘り強く行動する姿が印象的です。ナレーションを担当するのは映画『タイタニック』の主演女優ケイト・ウィンスレット。美しい映像も見応えがあります。ぜひご覧ください。

(記：田口姉)



■映画『ボンヘツファー ヒトラーを暗殺しようとした牧師』を観て

―信仰と生き方に触れて―

中谷美佳

ハレルヤ！主の御名を賛美いたします。昨年 11 月に公開された映画『ボンヘツファー ヒトラーを暗殺しようとした牧師』を観に行きました。本作は、第二次世界大戦下、ナチスに支配された教会や迫害を受けるユダヤ人を守るために立ち上がった、

映画「ボンフェツファー」は、3 / 2 7 に
いのちのこたば社からDVDが出ます！

監督・脚本・製作：トッド・コマーニキ
(「ハドソン川の奇跡」等を脚本)

実在のドイツ人
牧師・神学者、
ディートリヒ・
ボンヘツファー
(1906-1945)
の生涯を描いた
作品です。
平和を祈る聖職
者でありながら、
彼はいかにして
体制への抵抗運
動に関わり、つ

いにはヒトラー暗殺計画の共謀へと至っ

たのか。映画は、その葛藤と信仰の歩みを丁寧映し出していました。

作品を通して私の心に強く残ったのは、彼の揺るがぬ信仰です。時代の大きなうねりの中にあっても、神に従うことを選び取り続けたその姿に、深い敬意を覚えました。同時に、信仰者としての責任とは何かを改めて問いかけられました。そして、彼の生き方をさらに学びたいという思いが、いっそう強くなりました。

私がボンヘツファーを知ったきっかけは、2023年7月に開催された地中海ソプラノ歌手の工藤篤子先生のコンサートでした。先生は、ボンヘツファーが獄中で迎えた最後のクリスマスに、婚約者マリアとその家族に宛てて綴った詩をもとに生まれた賛美歌「よき力に守られて」を歌ってくださいました。温かく豊かな響きの歌声と、祈りに満ちた歌詞に、私は深く心を打たれました。

よき力にわれ困まれ 守り慰められて
世の悩み共に分かち 新しい日を望もう

よき力に守られつつ 来たるべきとき
を待とう

夜も朝もいつも神は われらとともに
います

この歌を通して、困難のただ中にあっても
神に信頼し続けるボンヘッファーの姿が、
私の心に深く刻まれました。

また昨年 4 月には、以前教会で信徒訓
練会をしてくださった守部喜雅先生の絵
画展『祈りの風景』を訪れました。数ある
作品の中から、私はボンヘッファーの祈り
の言葉が記された額装作品を選び、居間の
窓辺に飾っています。空高く雲の上をばば
たく鳥の絵とともに、次のような祈りが記
されています。

おお 神よ、朝まだき、あなたに叫びま
す。

祈ることを助け、あなたに思いをめぐら
させてください。

自分の力ではできないのですから。

私の内には闇があります。しかし、あな
たには光があります。

私は孤独です。しかしあなたは私を一人
にはしません。

朝、この祈りを声に出して読むたびに、ど
のようなときにも神にゆだねることの大
切さを思い起こさせられます。自らの弱さ
を認めつつ、なお神に信頼して歩もうとす
る心へと整えられていくのを感じていま
す。

このように、私の日常の中にボンヘッ
ファーの言葉が少しずつ根を下ろしてきた

頃、映画公開の知らせを耳にしました。そ
して実際に映画を観て、彼の信仰と生き方
に改めて触れることができたことは、私に
とって大きな恵みでした。

ボンヘッファーについては、まだ知らな
いことばかりです。これから彼の著作や関
連書物を読み進めながら、さらに学んでい
きたいと願っています。神に従うとはどう
いうことなのかーその問いを、これからの
人生をかけて問い続けていきたいと思っ
ます。



■■■■■■ 今後のスケジュール ■■■■■■

3月1日(日)より第三礼拝 再開

3月1日(日) 12:30～大学入学者&新入職者の集い

3月25日(水)～27(金) ユースキャンプ

(藤野芸術の家)

※4月以降のスケジュールは別途ご確認ください



■編集後記

なんと、今号は、教会のサーバーにあるフォルダにつないで、遠隔での共同編集でした。ほとんど同時に作業できるようです。離れたところでも共同の作業ができるとは、便利な時代です。

そんな時代でも、記事の願いは変わらずで、ウインディニュースでは、記事を絶賛大募集中です。

今回はたまたま映画にまつわるコラムを二つ掲載させていただきましたが、これまでもおススメの本だったり、旅行のことや料理といった趣味にまつわる話だったり、バラエティーに富んだ記事を読みなさんに書いていただきました。ほかにもお家のかわいらしいペットの記事など、大大大歓迎です。

もちろんお証は大(×4)歓迎!!!

原稿は手書きでもOK。データでただけの場合はメールやLINEでも大丈夫です。ファイルを添付でも、直接入力いた

いても構いません。寄稿いただいた方にはもれなく部長から愛犬の写真が送られてきます。え？要らない。

(桜井)

ウインディチャペル 溝のロキリスト教会
〒213-0033

神奈川県川崎市高津区下作延 7-11-12

TEL・FAX 044-811-3235

E-mail mcc@windychapel.com

ホームページ <http://windychapel.com>